

書名	天皇の国史 上			著者名	竹田 恒泰／著		
出版社	PHP研究所	ISBN	978-4-569-90245-6	本体価格	¥880	発売	2022/8/3
内容	日本の歴史を紐解いていくと、歴史を貫く一本の線があることに気付く。それが「天皇」である。天皇は日本人の歴史そのものといってよい。しかし、これまで通史といえば、目まぐるしく交代する権力者を中心とした政治史が一般的だった。本書は、二〇〇〇年来変わることがなかった天皇を軸として国史を取り纏めたものである。故に主題を『天皇の国史』とした。——「はじめに」より						

書名	天皇の国史 下			著者名	竹田 恒泰／著		
出版社	PHP研究所	ISBN	978-4-569-90246-3	本体価格	¥880	発売	2022/8/3
内容	日本とは何か。日本人とは何者か。その問いに、答えを出すために——。 「これまでの研究活動と執筆活動の集大成となった」と著者自らが語る日本の通史！ 文庫化に際し、上巻と下巻に分冊して同時刊行。アップデートされ、あわせて856ページにもなる渾身の力作！						

書名	万葉学者、墓をしまい母を送る			著者名	上野 誠／著		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-528756-9	本体価格	¥620	発売	2022/8/10
内容	墓じまい、親の介護と看取り、葬儀……。50歳以上なら誰もが身につまされ、心が波立つ数々のこと。体験と学問を往来し、現代日本人の魂の底に目をこらした思索の記録。						

書名	鈴鹿の物語			著者名	安藤 秀幸／著		
出版社	清文堂出版	ISBN	978-4-7924-1476-4	本体価格	¥16,500	発売	2022/8/10
内容	本書は研究編・注釈編からなる。研究編は、『鈴鹿の物語』と先行説話・先行作品との関わりについて、すなわち『鈴鹿の物語』の編者は何を踏まえ、どのような操作を加えて物語を編んだのかということを中心に論ずる。注釈編においては、天理図書館蔵写本を底本として校訂本文を作成し、注を付した。注については単なる語釈にとどまらず、表現の典拠や他作品に見られる類似表現、先行研究における解釈についても紙幅の許す限り記し、この作品の解釈と鑑賞に資するべく心がけたものである。また、付録として天理図書館吉田文庫蔵本の翻刻を収める。						

書名	論点・日本史学			著者名	編集/岩城 卓二,上島 享,河西 秀哉,塩出 浩之,谷川 穰,告井 幸男			
出版社	ミネルヴァ書房	ISBN	978-4-623-09349-6	本体価格	¥3,600	発売	2022/8/15	
内容	歴史像を組み立てる醍醐味を！ 154の〈論点〉を最新の研究動向に照らし、時代ごとの〈総論〉〈議論の背景〉〈探究のポイント〉とともにコンパクトに解説した学生・関連領域研究者必携の一冊。							

書名	東アジアからみた「大化改新」			著者名	仁藤 敦史/著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05955-8	本体価格	¥1,700	発売	2022/8/18	
内容	「大化改新」は東アジア世界にどう位置づけられるのか。高句麗・百済・新羅の動向や外交政策の対立などから、新たな視点で再検討。							

書名	近畿の古墳と古代史			著者名	白石 太一郎/著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-07514-5	本体価格	¥2,400	発売	2022/8/18	
内容	日本列島の古代国家はいかに形成され展開したのか。当時の政治勢力と密接な関係を持って造られ、貴重な情報を秘めた近畿の古墳からアプローチ。倭国の誕生から交通ルート、神まつりなど、日本古代史の謎を解く。							

書名	47都道府県の郷土玩具 中国地方・近畿地方			著者名				
出版社	大月書店	ISBN	978-4-272-40628-9	本体価格	¥3,000	発売	2022/8/25	
内容	古都の奈良や京都を中心に信仰にかかわる玩具や古い歴史が感じられる玩具に、明治時代につくられた神戸人形などの比較的新しい玩具も見られる近畿地方。日本海や瀬戸内海、中国山地の風土が生んだ中国地方の素朴な人形の数々を紹介。							